白物
[illegible]
[illegible]

へ13
3223
39

白縫譚

種彦著

上編

特
へ13
3223
39

白怒武物語

第五十一編上

柳亭種彦作

惠斎芳幾画

菊寿堂梓

丙寅初冬發

山田河内と云地筑紫の国なる蛍の名所にて先人の出世の祖ハ十九編の外題に有、此九編の口重にて披露しつれど蛍の後に役にたつと四十九編に奥三笠山に五人斬ハ柳下亭の鶴江とゝぐ〳〵ハ余り一番兵力を出し筆の命毛つゞうん迫と復讐の場に臨る如く心ざりい勇めとも元来鈍き手際故臆病のせいにて年こ延引雲〻の行仰ぬふと聞バ弥尻ごとつ危く構思立條に巴蛇川の住宅迫手探つきしこの此次の大立ハさて案し物嗚呼苦ハ目と三笠山其等まゝぬ笠宿に松花園の前樓先端書より誌了ぬ

處なり糟屋郡ハ蛍の名所にて先人の出世ハ

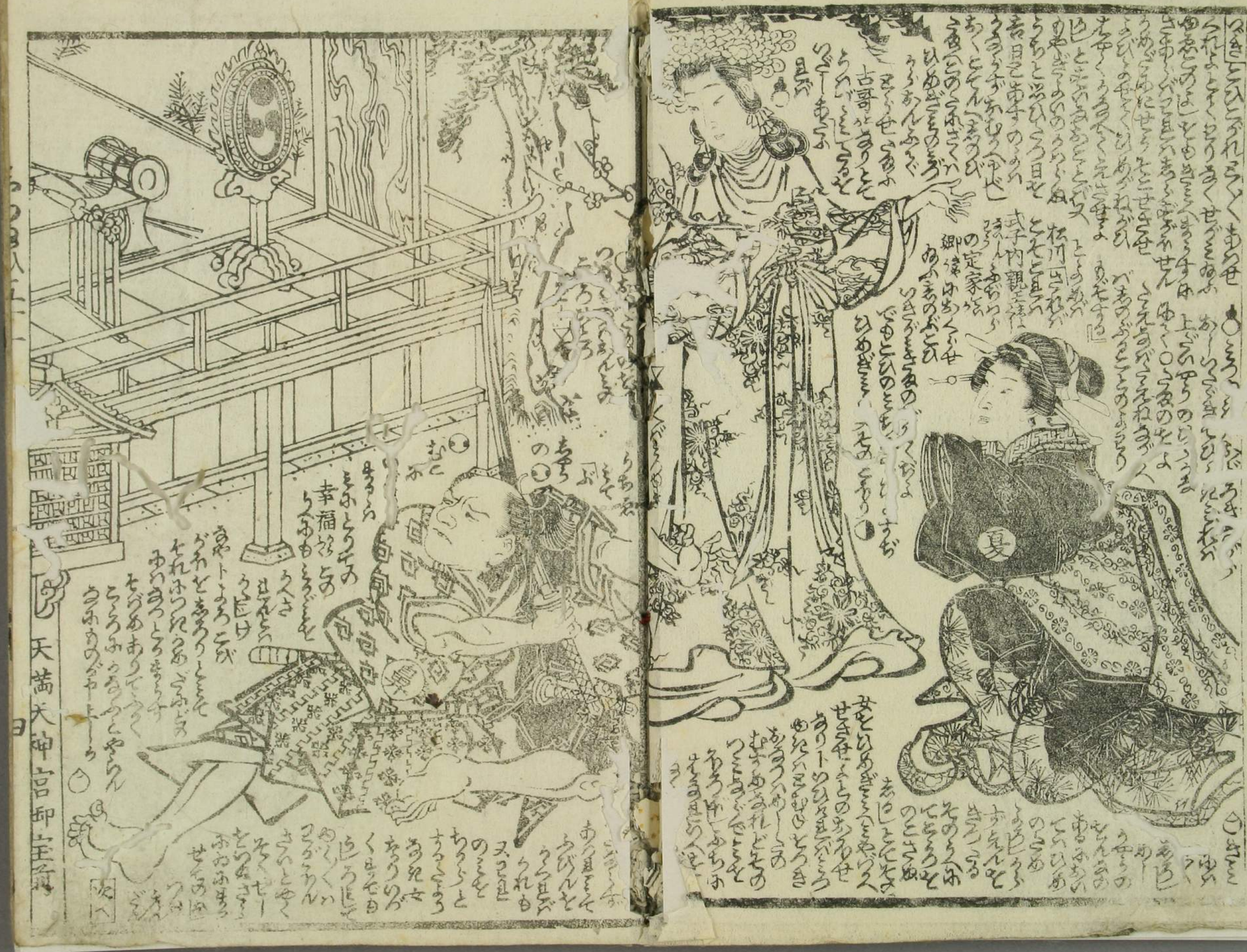
石摩郡にも同名有て笠松と云樹の有方を用ゐ

東京図書館蔵

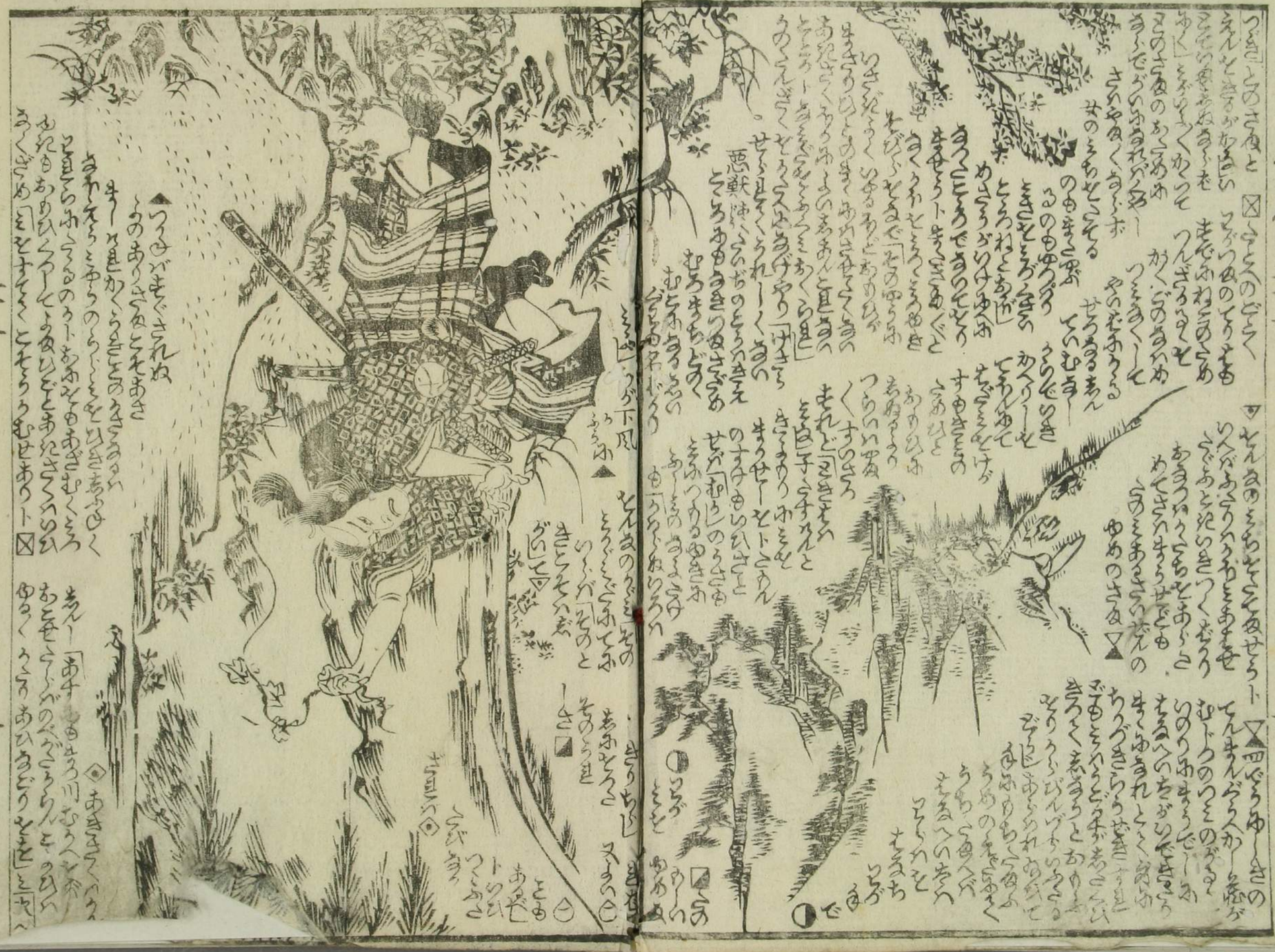
五十編のすゑに至こしやうの京の土産の長くとのり二十丁に及びられバ序文に庇ひ此編より山田河内に場ゝ到らねど次編にハ指刀してもめぐりて復仇せさを待ん

柳亭種彦

勾殿媛君
音川
右京
妻清
瀬



秋
仁



種彦作

芳幾畫

假名讀大上傳

自初編　至三十之編

芳幾畫

丙寅冬

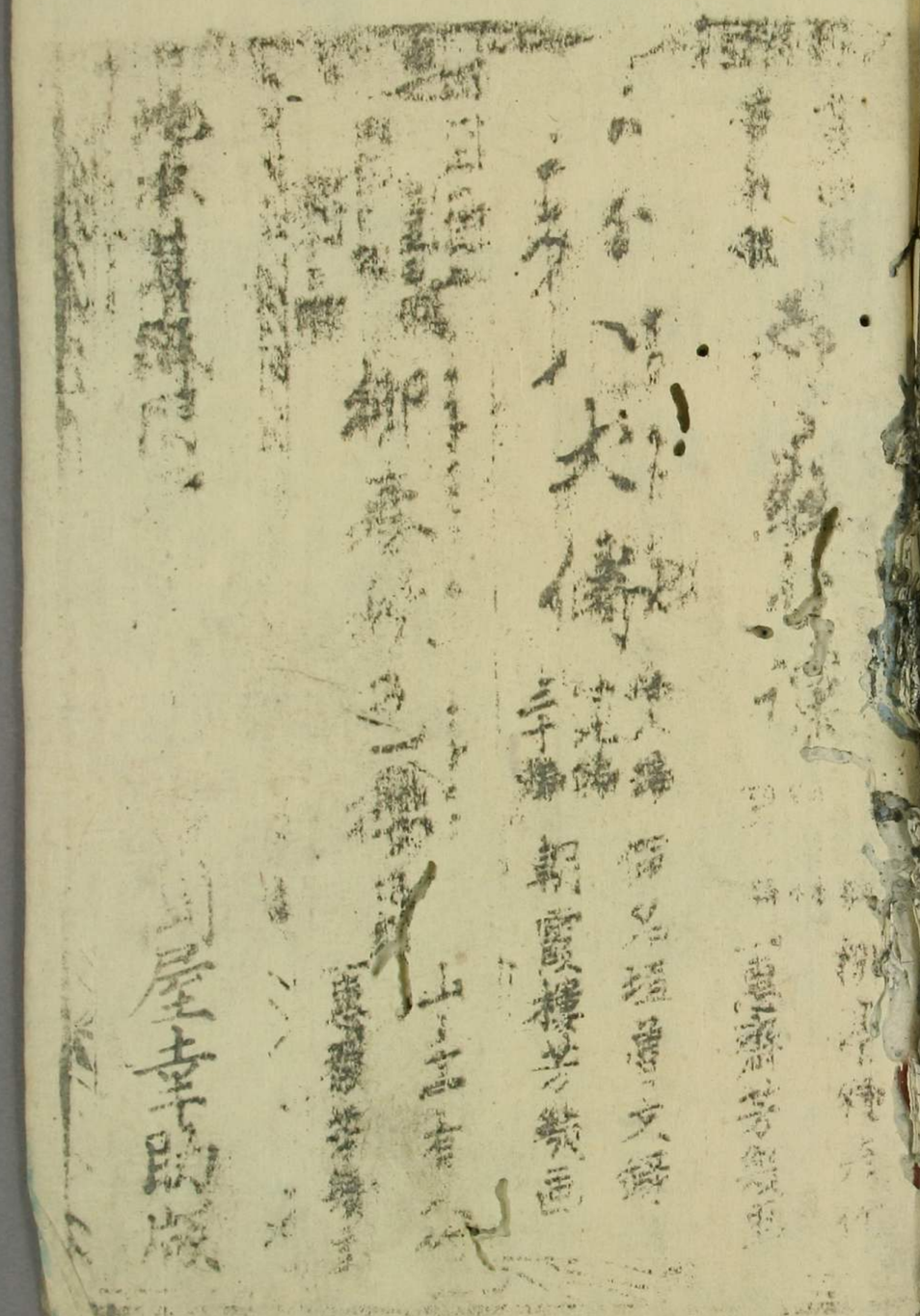
五十一編下

廣岡文庫

柳亭作
東籠畫
下之巻
菊壽堂梓
發九重

三

種彦作
芳幾画
菊寿堂梓



中村さん